

いわざ民報 行 報 社 報 民 ざ い 行 報 社 報 民 ざ い 行 報 社 報 民 ざ い

### 平商工會議所成立へ

#### 初代議員三十六名も選任

戦争に依つて失はれた商工業の復興を自主的に回復し地方産業の健全な發達を期する平商工會議所の創立發起人は二十一日二時半休、午後一時再開、地

### 初代會議所議員

- 平(内郷) 警城土建強口唯七 長山崎與三郎、諸橋合名諸 橋久太郎、ツルヤ商店猪狩庄 平、平石油配給所長關内正一

### 主食の大増配決定

#### 同時に米價も大幅値上げ 十一月一日から即時實施

政府は待望の主食の大増配をいよいよ来る十一月一日から斷行するに決定、右は主として米麥を以て維持することになつた

### 供米始まる

郡下の供米は鹿島村の百俵を筆は二十三日午前十時から東配本頭

### 田邊從組の 脱退承認

濱通り勞組聯が電産ゼネストの五分間停電は國內應を以て逆効果の形となつた

### 電産スト戦術變へ

第一日は午前中三時間半 主要工場停電

小川、永戸兩方面に滞貨の坑木力を停めることになつたが、石

### 特配酒

廿四、五兩日配給 市物業課では稻刈用特配酒を市

### 米だけで三石七斗

リンゴや魚類も大量に 深夜の上り列車取締り

### 市營青物市場 地鎮祭

廿六日に決定 銅所、警城セメント、日東紡

### 虚偽の訴

他人の預り金を せしめやうとし

### 診療所落成

平市田町駅前(高久病院跡) 高久醫院

### 御無用

列車取締の珍景 平署の列車取締は深夜こと、乗

### 啞の眞似も

列車がホームに迎り込むと、 同時に警官が客車に乗り込んで

柏原光太郎 柏原秀藏 外親戚一同

# 給付中止は四ヶ町村

## 郡下の健保組合の現況調査

健康保険組合問題は兼ねて論議する患者の診療治療は誤解を招來の中心となつてゐたが、終戦後その点が非常に多く、今度の成殊に激化、その成行を重視され行に注目せられるものがある。さしてその後の状態は一方渡邊、湯本、上野、大野、どうか、石城地方事務所の調査の四ヶ町村では町當局が積極的によると、郡下の九月末現在に乗り出して直營診療所を設けおける健保は三十一組合の加入直屬醫師を雇備して獨立經營に者十四萬名に達してゐる、うち成果を収めてゐるが、郡内町村勿來、植田、小名濱、赤井四ヶでこの様に待遇が異つてはと町村は祖上への給付を中止し方事務所でも詳細に互る調査を豫防注射や健康診断、助産給開始するとともに「健保石城」付等辛うじて保険施設のみを實を目標として指導に万全を期す施してゐるが、保険加入者として、との折合悪く、保険加入者として

# 崇つた苗木の不足

## 郡下の植林割當を下廻る

地方事務所林産課では戦時中の亂伐で郡下の山林は完全に荒廢に歸してゐるので、終戦と同時にこれが回復に努めてゐるもの、苗木不足に崇られて二十年度には増殖割當九百一十町歩に對して實地面積は六百三十二町歩しか達せず、本年度も食糧増産方面に力を添れた結果割當二千五百

# 引揚者への生業扶助金

郡下の引揚者は屢々の發表の如く増加の一途を辿つて居るが、それに比例して生活状況も又困難のどん底に追ひ込まれて居る。因みに四月以降の國庫補助生業扶助金交付状況の各町村別を引揚者營城聯盟の調査に見ると、

# お買物は皆様の

化粧品、固型洗劑、京人形、甘味料、小間物、各種雜貨、  
▽樂器部新設△  
電話二六八〇やまよし

十町歩に對して四分の一程度の下廻りを示してゐる現況に明十二年度には是が非でも割當を完途出來れば昨年と本年の兩年度の不成績をも挽回しやうと苗木類の大増産に乗り出すことになり具休計劃の樹立を急いでゐる

# 投資を歓迎す 要望批判結構 紙上可匿名

## オリオン座 絶対反対

平澤頭の一画に百五十萬圓の巨費を投じてオリオン座を建築するの案に對し數次に亘つて反對意見が本欄にみえたが、私見の一端を述べて之が建設に反對するものである

私は第二十一區(白銀町)第七隣組長として昭和十七年來其任に當つてゐたが終戦直前の強

# ゆきつり 野笛生

望と現在の淡々たる生活とのゆきつりによつて一物をもとどめ

「時の移動は嚴たる事實である。望と現在の淡々たる生活とのゆきつりによつて一物をもとどめ、餘地を許されぬ。思想も体験もその差こそあれ時と共に進歩する。時の移動は進歩の最高點に達したる時停止する。そしてそれは肉体的環境を意味するものであり、現實たる死に直向せしことを意味するものである。如何に頭腦が明解でも如何に体驗が豊富でも時の移動に對して安協點を見出したる者は明らか

に世の落伍者であり生きてゐる屍である。」

仲介は日記帳の何項目かにかう書きつけた。これはあくまでも自分で自分を統御することの出来ぬ心なまじらす手段に過ぎないではないか。あれほど愛し切つてゐた彼女が單なる偶像に過ぎなくなつてしまつたのか、しきつてゐるのなら問題ではなかつた。それを問題にしたのは仲介の我が身を生きてゐる屍とする悲觀的な態度であつた。

# 簡生活が響く 利用減少の九月の公益質屋

食に退はれての簡生活は、市民の最も身近な金融機關公益質屋にも如實に現はれて來た。九月の統計を見ると利用者百四十三人、利用品三百九十五点、貸付額は五千六百四十圓に減少して居る、これは入質物の手薄くなつたに依るもの、貸付状況は小商人が第一位だが借給生活者の最下位は最近の組合運動に負ふ所が多い様だ、(括弧内は別職業別 小商人七五(一一

八)小工業者三一(三三)労働者一四(三五)借給生活者九(一四)其他一三(二五)計一四三(二二五)  
▽種類別 衣類三六四(五七八)價券二(二)裝身具四(八)家具二(二)其他三(三)計三九五(六一〇)  
▽貸付金額 五千六百四十圓(九千八百八十圓)四月からの累計では四萬六千十二圓(三萬九千五百八十一圓五十錢)で、平均七千六百六十八圓で九月度は平均より二千圓減少してゐる。

制疎閑に依り多年生活の本據を借りたところを奪はれ涙を吞んで移轉したのである

△：然るに地主馬目氏は借地、借家人が建物と引拂つた権利を失つたのであるといふ理由の下に今回の借地、借家人法をも無視して、私達に一言の相談もなく惠原氏に貸與契約を結んだ。△：惠原氏も亦私達のことを考へて馬目氏より平市の現況を熱視せられよ、劇場が市民のため絶対不可欠のものかどうか、罹災者や引揚者は今衣住に悩んでゐるのである、お互にもつとよく考へてみやうではないか、(オリオン座建設場所に住つてゐる第七隣組長——齋藤角治)

退院の支度最中の秋の雨、秋風や男のこころうつくしく、多紅葉消えんばかり瀟々しく、橋渡る人の定かに十三夜

平市南町平館西隣  
中央會館

井出陶泉子  
火焔狂ふ灯たよりの選炭婦  
夕燒や電柱打る鑛山の町  
鈴木 紅果  
ゆきあふて道の包み閉籠  
公の日に來て見慣れこぼれ

坂本 冬卿  
ゆくりなく來て糸瓜忌の人と  
鶏頭かしその旧のごとく小糠  
雨

視力試験設備が有ります  
眼鏡 門 專 屋 玉  
定指醫科眼各  
目 丁 二 市 平

進む文化に守る視力  
トロリー式機  
パールマニント  
平市町町銀座通り

メイ美容室  
◎化粧品部◎  
▽経験者未経験者  
若干名急募△

集・募・姫・織  
25才から25才まで  
経験者見習若千名  
希望者は半勤勞者又  
當工場へ來談の事  
正木織物工場  
平市新町 電83番